

墨球報告

[発行日]
2012年7月11日(水)

[発行者]
ソフトボール代表
石田角太

[連絡先]
2-4336

量子、予選L1位

2勝1敗で決勝Tへ

ソフトボール大会が開幕してから2週間が経過し、予選リーグは残すところ5試合。

全日程を消化したグループAでは、量子化学研究室(量子)、地殻化学実験施設

(地殻、生物有機化学研究室(生有)が2勝1敗で並び、得失点差で上回る量子が1位通過となった。量子は、7月28日(土)に開催される決勝トーナメントへ進出する。

初出場の石原・湊が活躍

【光電5-12量子、2日、農学部、撮影・大高】

予選リーグ・グループAの初戦、量子が12対5で光



5日、右越え満塁本塁打を放つ歸家



5日、適時打を放ち歓声に応える市川



2日、左越えの打球を放ち二塁へ進む湊

Rookies⑤

石原 良太さん



趣味は音楽鑑賞です。ロックとジャズをよく聴いています

Rookiesの第五回目は、石原良太さん(博士課程三年)です。

◇ 昨年度まで在籍していた研究室では、ソフトボールの試合にあまり出場していませんでした。昔、遊びで行っていた野球で、一塁を守っていたことがありますが、ソフトボールをよく知っている人が多くて、圧倒される感じでした。今後、試合に出場する機会があれば、足を引っ張らないよう、頑張ります。

電変換化学講座(光電)に勝利した。

この試合、量子は練習試合に出場してきた選手2人を欠く不安なスタート。しかし、代役として本年度初出場した石原・湊が活躍した。石原は1回無死満塁で迎えた初打席で2点適時打を放つ。湊は1回無死一、二塁で迎えた初打席で左前適時打、2回の第二打席では左越え二塁打を放った。いきなりの活躍に湊は「とりあえず打って飛ばすというイメージしかなかった。たまたまです」。

光電 20030-5
量子 102000-12

雨中試合 反撃及ばず

【生有4-3量子、3日、農学部、撮影・大高】

強い雨の中で行われた予選リーグ二試合目、量子は3対4で生有に敗れた。量子は、同点で迎えた4



【地殻5-20量子、5日、農学部、撮影・池田】

1勝1敗で迎えた予選リーグ三試合目、量子は20対5で地殻に勝利した。この試合、量子は序盤から打線が繋がった。結局、先発全員となる21安打で20得点を挙げ、リーグ最終戦を勝利で飾った。

○歸家(量) 3回裏に右越え満塁本塁打を放つ。「外角の球を逆らわずに上手く打つことが出来ました。体調不良(一日酔い)で心配をお掛けしましたが、お役に立てて良かったです」

○三浦(量) 三安打の活躍に「ピッチャーとの相性が良かった。これが本物かどうかは次の試合次第」。

地殻 00104-5
量子 41636-20

三安打の三浦

ソフトボール大会 決勝トーナメント

7月28日(土)
8:00-

